



印刷文化セミナー⑤
＜ワークショップ＞

Pinhole camera Workshop

「はじめてのピンホールカメラ」

講 師 エドワード・レビンソン (*Edward Levinson* 写真家)
日 時 2010年10月30日(土) 13:00～16:30(受付開始は12:30～)
場 所 日本写真印刷株式会社 講堂
京都市中京区壬生花井町3
(阪急大宮駅・西院駅から徒歩約10分、市バス「四条中新道」下車すぐ)

内 容 レンズを使わず、針先で開けた小さな孔を通して、ゆっくりと時間をかけて像を写すピンホールカメラ。
ピンホール写真家のエドさんと一緒に、味わいのある写真を撮ってみませんか？
カメラの組み立て、撮影、現像作業の見学まで体験いただけます！



■ 写真家のエドさん

費 用 1,500円 (カメラキット他 材料費含む)
定 員 20名 (先着順、定員になり次第締め切ります。対象は高校生以上。)
主 催 一般財団法人 ニッシャ印刷文化振興財団

＜お申し込み方法＞ 電話にて事前に予約申し込みをお願いします
受付期間 10月20日(金)まで
電話番号 075-823-5318 ニッシャ印刷文化振興財団 事務局
受付時間 10:00～12:30、13:30～18:00(土日祝は除く)

尚、当日ご希望の方には築後104年を経過した本館1階に開設されています印刷の歴史資料を展示したギャラリーもご覧いただけます。



[講師プロフィール]

エドワード・レビンソン (*Edward Levinson* 写真家)



バージニア州立コモンウェルス大学で写真を学ぶ。

1979年より日本に居住。京都府、東京都を経て、現在は千葉県にてスローライフを送る。

展示会活動の他、ピンホール写真ワークショップ講師、新聞・雑誌・単行本に写真と記事を寄稿。

写真集「タイムスケープス・ジャパニー 針穴で撮る日本の原風景」、「エドさんのピンホール写真教室」他共著多数。

1994年より、日本を中心に世界各地でピンホール写真展を開催。ピンホールカメラを主に、デジタルカメラ、フィルムカメラを駆使して作品制作に勤む。モノクロ写真は自身の暗室作業でプリントする。

個人ギャラリー「エドフォト」を自宅に併設。

PINHOLE RESOURCE協会(アメリカ)、日本写真協会、ピンホール写真芸術学会、日本針穴写真協会各会員。